



ご参考

2009年10月16日

スバル アウトバックが2010年SUV オブ・ザ・イヤーを受賞 ～ 史上初の2年連続受賞 ～

富士重工業の米国販売会社スバル オブ アメリカ インク^{*}は、北米地域で販売している2010年型スバルアウトバックが、米国自動車専門誌「モータートレンド^{**}」の2010年スポーツ/ユーティリティオブザイヤーを獲得したと発表しました。昨年もスバル フォレスターが同賞を獲得しており、史上初の2年連続受賞となりました。

モータートレンド誌は、2010年型アウトバックが、乗用車の洗練された乗り心地や運動性能、燃費性能の実現と、SUV^{***}の悪路走破性を兼ね備えたユニークな商品特長をもつ車であるとコメント。優れたクルマづくりや細部にまでこだわった機能、さらに競争力のある価格など、アウトバックが幅広いお客様に受けいられる優れた総合性能を備えている点が評価されました。

モータートレンド誌のスポーツ/ユーティリティ オブザイヤーは、昨年11月1日から1年間に販売された新型モデルや大きな変更がなされたモデルを対象に、モータートレンド誌の編集者による厳正な選考を経て受賞モデルが決定されます。評価項目は、車両の加速性能やブレーキ性能、ハンドリング性能、乗り心地、騒音など多岐にわたります。さらに今年は、デザインやパッケージング、燃費、安全性などが新たな評価項目として追加されました。

本受賞を受け、スバル オブ アメリカのトーマス ドール上級副社長兼COOは「2年連続の受賞は大変光栄なことです。昨年フォレスターが同賞を獲得したことも十分に素晴らしいことでしたが、今年アウトバックが受賞されたことはまさに偉業に値するものです。これまでアウトバックは、性能と機能を特長としたSUVと同等の性能を持つ車として高く評価されてきましたが、2010年型では運動性能、燃費、室内の広さが改善され、より完成された商品になりました。」と述べ、さらに現在の米国市場における販売好調に触れ、「この成功は、魅力的な商品だけでなく、販売店の方々の献身的な努力と優れた販売、マーケティング計画によるものです。そのスバルブランドに対し、モータートレンド誌が評価してくれたことに感激しています。」とコメントしました。

アウトバックは新環状力骨構造ボディに加え、サイドおよびカーテンエアバッグやアンチロックブレーキシステム、ビークルダイナミクスコントロールなどを標準装備とすることで、優れた安全性能を実現しており、今回の選考でも高い評価を受けました。また、先ごろ実施された米国IIHS^{****}による安全評価においても、最高の「トップセイフティピック」を獲得しています。

スバルは、これからも、幅広いお客様のご要望に応えられる商品力の強化と、安心と信頼を提供できるよう車の開発に取り組んでいきます。

* ニュージャージー州チェリーヒル、会長兼社長 蓮沼 愛雄

** 米国の大手自動車専門誌

*** Sport Utility Vehicle:スポーツ ユーティリティ ビークル

**** Insurance Institute for Highway Safety:ハイウェイ安全保険協会